

◆1年生合唱

- | | | |
|----|------|--|
| 1位 | 1年4組 | 「YELL」 |
| 2位 | 1年3組 | 「RPG」 |
| 3位 | 1年2組 | 「正解」 |
| | 1年5組 | 「Love Is an Open Door / A Whole new World」 |



《審査講評》

どのクラスも声が大きく、クラスとしてのまとまりがありました。各クラス指揮者・伴奏者の決定に始まり、人数や男女比などさまざまな困難や課題を抱えながらも、クラスで何度もしっかりと練習を重ねてきた努力がうかがえる合唱でした。文化祭の学年ごとの発表を1年生として華々しくスタートさせてくれました。

(以下審査員コメント)

- 1組 女子の歌唱力が高く、良かった。発表の最初に皆が笑顔になる瞬間があり、良い雰囲気だった。
- 2組 しっかり男声が響いていて良かった。サビへの盛り上がり、抑揚がしっかりついており良い合唱だった。
- 3組 まさに歌の題名の通りにワクワクした冒険をしているかのように1つの楽しい作品を合唱で表現しているようだった。指揮者も上手にその冒険を先導していた。
- 4組 男女のハーモニーが素晴らしかった。他のクラスに比べて、歌唱力・合唱力が優れており、全体のまとまりも感じられた。
- 5組 少人数でも声量があり、パートごとに強弱も含めて、しっかりと自分たちの良さを表現できていた。
- 6組 全体の一番最初という緊張感の中、大きな声でアカペラの歌い出しを見事に歌いきり、1年生全体の発表へも弾みをつけてくれた。男子の元気の良さが際立っていた。



合唱1位：1年4組

◆1年生クラスムービー

- | | | |
|----|------|--------------|
| 1位 | 1年4組 | 「期末テスト」 |
| 2位 | 1年2組 | 「2組の相席食堂開店！」 |
| 3位 | 1年3組 | 「情熱大陸 米高編」 |



《審査講評》

1年生の取り組みとして2年目となりました。どのクラスもクリエイティブなシナリオが作成されていただけでなく、短い制作期間で、撮影・編集を行うことができました。全体的には、BGMや効果音をうまく使い、笑いを誘うなど、観ている人を引きつけることができたのではないかと思います。楽しく拝見することができました。

しかし、台詞が雑音にかき消されるシーンが見受けられ、場所と時間を精査したうえで撮影に臨むなど、もう一工夫あれば、さらにクオリティの高い仕上がりになったのではないかと思います。今回は映像による発表でしたが、観ている人をいかに引きつけることができるかという経験は、来年チャレンジする演劇においても活かされるのではないかと思います。

(以下審査員コメント)

- 1組 一人一人の演技力が優れていました。「名探偵コナン」の再現度が高くストーリーがわかりやすかったです。テロップも効果的でした。
- 2組 オリジナリティはないが、テレビ番組「相席食堂」をうまく再現していました。CMを入れるという手法が高評価につながりました。
- 3組 それぞれの先生方の情熱的な特徴がしっかりと表現できていました。先生方への愛情が伝わってきました。
- 4組 「ウルトラソウル」で笑いを持っていかれました。LINEの画像も効果的でした。
- 5組 かなり手の込んだ「ドッキリ」だったと思います。テロップの使い方がよかったです。
- 6組 ドラえもんや人間の体内の物語の組み合わせがおもしろい。オリジナルのシナリオがしっかりと練られていたと感じました。

◆2年演劇（短編）

- 1位 2年5組『FROZEN』
- 2位 2年6組『君の臍臓をたべたい』
- 3位 2年4組『ミステリと言う勿れ』



2年演劇1位
2年5組

《審査講評》

蒼輝祭では、初めての演劇への挑戦だったと思いますが、演劇を通して伝えたいことは伝えられたでしょうか？どのクラスも演出効果に様々な工夫が見られ、全体的にクオリティの高い仕上がりとなっていたと感じました。

限られた時間と予算の中、様々な苦労もあったと思いますが、本番までの取組と本番をやりきったことは大きな経験であり、大切な財産になったことと思います。そして、他のクラスや3年生の演劇を鑑賞し、色々と刺激を受けたことと思います。また今回の取組を振り返って、改善点も見出せたのではないかと思います。

次年度はよりオリジナリティにあふれた、かつレベルアップした演劇になることを期待しています。（以下審査員コメント）

1組『二枚の手紙』

- ・学校内のネタが盛り込まれていてオリジナルの良さを生かしていた。 ・何人かの「アオイさん」面白かった。
- ・場面の切り替えや小物を映像で補うのが効果的。多くの人の出番があって良かった。

2組『世にも奇妙な物語』

- ・舞台の使い方が面白かった。幽霊の意表を突いた登場も良かった。 ・幽霊の演出良かった。ソクツとした。
- ・幽霊三人は場面の切り替えに効果的。道具を最小限に抑えていて、舞台以外を上手く利用できている。

3組『宛名のない手紙』

- ・ミカのみさが伝わってきました。 ・主人公の気持ちに移入して見てもらえました。
- ・深く考えさせられるストーリーに魅入ってしまいました。

4組『ミステリと言う勿れ』

- ・小道具がしっかり準備されている。場面を理解しやすかった。 ・全体的に完成度が高かった。効果音も良かった。
- ・どの演者も長いセリフを、気持ちを込めて演じられていた。

5組『FROZEN』

- ・圧巻の演技力・歌唱力で、「すばらしい」の一言です。音響照明もぴったりでした。 ・ステージの使い方が上手い。
- ・ミュージカルを取り入れてのダイナミックな演出。一人一人が役になりきれている。 ・暗転がカーテンで工夫あり。

6組『君の臍臓をたべたい』

- ・思い出すところでのプロジェクターが効果的。 ・ストーリーに引き込まれました。感動しました。
- ・音楽で暗転の間づくりができていますので、次の場面への期待が持てる。

◆3年演劇（長編）

- 1位 3年3組『水平線』
- 2位 3年5組『君に届け』
- 3位 3年1組『斉木楠雄のΨ難』
- 特別企画賞 3年6組『チ。ー地球の運動についてー』



3年演劇1位
3年3組

《審査講評》

どのクラスの演目も、まさに3年生らしい完成度と貫禄に溢れており、下級生にとっても多くの学びを与える堂々たるものでした。この講評では、今年度の蒼輝祭「3年生演劇の部」を振り返りながら、「さらに磨けば一層輝く」という視点を軸にお伝えします。

中には十分に完成度の高い演目もありました。しかしながら、1・2年生が蒼輝祭の伝統を受け継ぎ、さらに高めていくためのヒントとして参考にしていただければ幸いです。

＜作品づくりで大切にしてほしい5つの視点＞

1. テーマ設定とドラマ構成 観客に何を伝えたいのか、テーマを明確にし、その展開が自然であるかどうかを考えましょう。プロットやクライマックスへの流れが観る者の心を動かすように構成されていると、作品全体に一貫性が生まれます。
2. 脚本とナラティブの工夫 台本が短い準備期間の中でも巧みに練り上げられ、多くの独自性が感じられ

ました。ただ、観客がずっと物語の中に引き込まれるよう、ストーリーラインや台詞の明瞭さに配慮した工夫を心がけましょう。

3. 観客との共鳴 舞台芸術は「観る者に届ける」ことが重要です。キャストの没入感は見事でしたが、観客目線を考慮し、意図がしっかりと伝わっているかを振り返ってみてください。
4. 発声と台詞の明瞭さ セリフの意味やニュアンスを明確に伝えるために、発声やプロジェクションを意識することが大切です。舞台上での声が全体に届くことで、演技の説得力が一層高まります。
5. 場面転換と演出の流れ 暗転や場面転換のテンポ、音楽やナレーションの活用など、舞台の流れをより滑らかにする工夫は、作品全体をさらに洗練させる重要な要素です。

高校生活最後の蒼輝祭・演劇の部として、3年生の皆さんの情熱と創意工夫には心から感銘を受けました。その努力と各クラスの団結に敬意を表し、高校卒業後の次なるステージでも輝きを放ち、大きな夢を追い続けてほしいと願っています。(以下審査員コメント)

1組 『斉木楠雄のΨ難』

多くの演者が多彩な個性を発揮しながらステージに立ち、一つの作品を仕上げた点に独自性が感じられました。コメディとしての完成度を高めるため、演者の発声の良さやナレーションの活用が際立ち、頻繁な場面転換がありつつも、観客を舞台に引き込み笑いを取る場面が多く見られました。狙った演出効果が発揮されていたと感じました。

2組 『今日から俺は！！』

多くの演者が力を合わせ、一本の痛快な学園コメディを創り上げた点で、クラスの団結力と伝えたいメッセージが伝わってきました。アクションシーンやテンポの良い台詞の掛け合いには、練習に真摯に取り組んできた成果が感じられました。クライマックスや転換点に、観客の心に響くような感情の流れが加われば、より印象的だったでしょう。

3組 『水平線』

総じて演者の演技、発声、感情表現などが高いレベルで仕上がっており、観る者の心を揺さぶる力強い表現が際立っていました。テーマ性が鮮明に描かれ、登場人物の心理描写が見事でした。会場全体を活用した演出の工夫も評価すべきですが、場面転換やBGMへのさらなる配慮が加われば、より一層高い完成度を実現できたでしょう。

4組 『聲の形』

本作は、人として深く考えるべきテーマを真摯に扱い、演者一人ひとりの個性が輝く誠実な演技が印象的でした。特に手話を取り入れた工夫は、観客に新たな視点を提供する試みとして評価されます。一方、頻繁な暗転により、ストーリーへの没入感が途切れる場面もありました。この点を改善すると、物語の魅力がさらに引き立ったでしょう。

5組 『君に届け』

青春を題材に、一人ひとりの丁寧な演技で等身大の高校生像が鮮やかに描かれていました。場面展開を絞り、大道具を厳選することで深い没入感を生み出すことに成功していました。音楽の活用や静かに舞台転換を進めるなど細やかな配慮が見られました。演技と演出の融合により、作品全体としてメッセージ性と説得力を備えていました。

6組 『チ。ー地球の運動についてー』

総合的に完成度の高い演目でした。主人公の演者は長い台詞を見事に自分のものとし、その存在感が際立っていました。観客との掛け合いや効果的なBGM、巧みな暗転・明転の舞台操作など、舞台芸術に必要な要素が高いレベルで具現化されていました。独自の世界観を構築し、観客を引き込む多彩な工夫がその成果となっていました。

蒼輝祭（体育祭）結果



玉入れ逃走中

1年 1位…1-4 2位…1-3 2位…1-5
2年 1位…2-4 2位…2-2 3位…2-1
3年 1位…3-4 2位…3-2 3位…3-1

障害物リレー

1位…3-5 2位…3-2 3位…1-1

クラス対抗 800m リレー

1位…3-4 2位…3-1 3位…3-2

台風の日リレー

1位…4団 2位…2団 3位…1団

借り人競走

1位…3-2 2位…2-6 3位…3-5

クラスパフォーマンス

1年 1位…1-1 2位…1-2 3位…1-4 2年 1位…2-5 2位…2-2 2位…2-3
3年 1位…3-3 2位…3-5 3位…3-4 ★総合 1位…3-3 2位…3-5 2位…2-5

バックアーチ

1年 1位…1-6 2位…1-3 3位…1-4 2年 1位…2-6 2位…2-1 3位…2-2
3年 1位…3-6 2位…3-4 3位…3-5 ★総合 1位…2-6 2位…3-6 3位…2-1

★競技の部

1位…3-2 2位…3-1 2位…3-5 4位…1-1 5位…3-4 6位…1-3

★総合の部（競技+クラスパフォーマンス+バックアーチ）

1位…3-5 2位…3-4 3位…3-2 4位…3-6 5位…3-1 6位…3-3

《クラスパフォーマンス審査講評》

クラスパフォーマンスを鑑賞して、どのクラスも掲げるテーマに沿って様々な工夫が見られたクラスパフォーマンスだったと思います。3分間という限られた時間の中、皆さんの熱い思いが伝わってきました。

音楽に対し、振り付けや動きがマッチしているとまとまりが出て、良いパフォーマンスになるという印象を受けました。また、全員がしっかりと振り付けや動きを覚えていること、小道具等で魅せるための工夫がされていること、空間を広く使っていることなどが結果の上位と下位との差だったのではないかと思います。

1・2年生は、来年度もより創意工夫にあふれたクラスパフォーマンスになることを期待しています。（以下審査員コメント）

1年1組

・テーマ性がよく伝わった。スピード感があった。赤 vs 青というテーマのダンスが面白い。その一体感がよい。

1年2組

・ダンスに加え、色も映える工夫があって良かった。衣装、まとまりがありよかった。一体感あり。

1年3組

・いろんな方向から見て楽しめる工夫があった。移動がスムーズで無駄がなかった。リズムカルだった。

1年4組

・スペースを広く使っていた。躍動感があった。声を出すところがまとまりを感じられよかった。

1年5組

・衣装が対照的でメリハリがあった。黒と白のコントラストがよい。メッセージ性があった。テーマに沿った工夫ができていた。

1年6組

・動の中の静がうまく使われていた。いろんな動きがあっても楽しかった。振り付けがかわいい。

2年1組

・曲調とよく合っていた。曲や動きが良かった。声がうまく使えていた。ダンスがかっこ良かった。

2年2組

・バチ、斬新だった。メッセージ性がよく伝わった。アイデアに富んでいて良かった。かけ声良かった。

2年3組

・「チャート」テーマが生きていた。躍動感もありよかった。テーマ、クラTとも統一されていて良かった。

2年4組

・みんな一所懸命踊っていた。速く細かいステップのところがかっこいい。構成がよく練られていた。

2年5組

・完成度が高いパフォーマンス。テーマどおりで素晴らしい仕上がりだったと思う。とても美しかった。

2年6組

・明るい雰囲気が出ていた。手の動きを大きく見せられていた。まとまり感があった。動きがよくそろっていた。

3年1組

・難しいダンスをよく頑張った。よく全体がそろっていた。DJ、面白かった。ストーリー性を感じた。

3年2組

・美しく格好よくできていた。緩急があり見ていて面白かった。一体感がみられた。リズムによく合っていた。

3年3組

・広がったりコンパクトになったりメリハリのある動きがよかった。美しかった。ストーリーを見ているようで素敵だった。

3年4組

・元気があり、メリハリがあった。一所懸命さが伝わった。一体的なまとまりがあった。動きがそろっていた。

3年5組

・意気込みを感じた。とてもよくまとまっていた。爽快なダンス、常に動きがあるのがよかった。かけ声が良かった。



総合1位
3年3組

3年6組

・メリハリがあった。迫力のあるダンスだった。展開にアイデアがあった。勢いとかわいさがよかった。

《バックアーチ審査講評》

長浜ドームで披露された今年度のバックアーチも、力作揃いで圧巻でした。躍動感を前面に押し出すモチーフ、澄んだ空気をまとう神秘的な構成、幻想的で深みのある世界観に誘う物語性、心を和ませる可憐な造形——米高生の皆さんならではの多様性と創造性が光る仕上がりに、大変心を打たれました。「テーマ&アピールポイント」の文章からも、どのクラスも“ここをひとつに、感動を届けたい”という情熱が伝わってきました。限られた時間の中で仲間と歩んだ軌跡が、見事に形となって表現されていました。どのバックアーチも、称賛に値する“芸術作品”でした。

ここで、作品づくりにおける3つの視点をあらためて振り返りたいと思います。

- ・ クラスの団結力や体育祭への想いが、テーマに沿って力強く表現されているか
- ・ 印象やインパクトを意識し、見る人の心を一瞬で捉える工夫があるか
- ・ 高い位置で吊られた状態でも、遠目にメッセージが伝わる構成になっているか

細部のこだわりは完成度を高める要素ですが、距離のある視点でも伝わるよう、全体の構成と発信力にも気を配った作品は、ひとときわ輝いていました。特に上位入賞を果たしたバックアーチは、こうした要素を見事に兼ね備えていました。

個性と工夫に満ちた造形、そして“想い”を形にするために重ねた試行錯誤。そのひたむきな挑戦と米高生としてのプライドが、体育祭の彩りを一段と華やかにしてくれました。皆さんの熱意と創造力に、心より拍手を贈ります。(以下審査員コメント)

1年1組

・侍をモチーフにしたことで、他クラスに向けた闘争心が具象化され、静かな凄みと迫力が見事に表現されています。モノトーンによる大胆な全体の構成に、赤やピンクの鮮やかな彩色が効果的に映えていました。見る人をこの世界観に「深く引き込む」工夫があるとより完成度が高まったでしょう。

1年2組

・ユニコーンを大胆に中央に据えた構図が印象的で、清らかさや優雅さが神秘的な世界観の中で見事に表現されています。たてがみや尻尾、翼などの描画にも細部まで丁寧さがあり、努力の跡がうかがえました。夢と希望を届けるクラスの守り神というテーマ性も十分に伝わってきました。

1年3組

・テーマのとおり、個性豊かな仲間がこのクラスに集い、一丸となって学園祭で活躍する願いを込めてデザインされたこのバックアーチは、皆の想いと絵柄が見事に融合しています。花びらの細やかな描画や色使いにも妥協がなく、全体に統一感のある完成度の高さが際立っていました。

1年4組

・虎の表情や美しい身体の立体感が、巧みなタッチと色使いによって見事に描かれています。今にも飛び出しそうな虎が、学園祭を全力疾走で駆け抜けようとする瞬間をとらえたこの作品からは、緊張感と躍動感の両方が伝わってきます。「技あり」の力強い作品で、見る人に勇気と力を与えてくれます。

1年5組

・「みんなが笑顔で仲良しなところ」を大切にするクラスの価値観が、作品から明確に伝わってきます。表情豊かな一人ひとりの描写は、美しい花にも劣らないほどの魅力に満ちていました。互いを尊重し、仲間を大切にしながら、皆の幸せを願って団結しようとするメッセージも巧みに表現されています。

1年6組

・クラスが一致団結し、地球を飛び出す勢いで猛然と勝利を目指した結果、月面に旗を立てる勝利の瞬間を描いたこの作品は、精緻で写実的な描写や巧みなグラデーションによる色使いに技術的優位性があり、加えて、ストーリー性と世界観の創造にも成功した完成度の高い作品に仕上がっています。

2年1組

・赤・黄・黒を基調にした巧みな配色とグラデーションにより、月夜を舞う鳳凰の気品と生命力が幻想的に描かれています。細

部への繊細なこだわりとともに、画面全体には力強さと躍動感がみなぎり、圧巻のバックアーチに仕上がっています。テーマ性とメッセージ性が存分に表現された印象的な作品に仕上がっています。

2年2組

・漆黒の夜空と輝く月を背に、遠吠えする銀狼の姿を精緻な筆致によって写実的に描き出し、作品全体に幻想的な空気感を漂わせています。その構図は、命の躍動や強靱な精神を力強く物語っており、見る人の感情を揺さぶります。クラスカラーの緑を取り入れようと工夫した点に、深いこだわりと挑戦の姿勢がうかがえます。

2年3組

・軽やかに、かつ、優美に広がる翼を中心に据え、テーマ「青雲之志」の精神が色使いや構図に見事に表現されています。また、遠目でも映える大胆な構成と、文字のレタリングや影への細やかな配慮などからも、制作者の思いや狙いが的確に形にされた完成度の高い作品に仕上がっています。

2年4組

・背景の幾何学模様は統一感ある配色と緻密な筆致によって質感が高められ、全体の印象を引き締めています。中央に据えられた狼は、明度を抑えた描写の中で赤く鋭い目を光らせており、静かな迫力と確かな存在感を放っています。背景との鮮やかな対比も効果的で、全体としてまとまりのある印象的な作品となっています。

2年5組

・構図の工夫によって、雪の女王が手を伸ばし観る者に迫るような迫力と立体感が巧みに表現されています。漆黒の背景の中に、女王の冷やかな気品や雪の結晶の鋭さ・透明感が丁寧に演出され、全体に凛とした美しさが漂います。文字のレタリングや配置にもさらに工夫を加えれば、作品の完成度が一層際立ったことでしょう。

2年6組

・写実的で精緻な描線にこだわり、威厳ある百獣の王ライオンを強い存在感で描き切った力作です。質感の描写や遠近の処理も丁寧で、圧倒的な迫力が際立っています。王者の誇りや情熱は、クラスカラーのオレンジを基調とした暖色系の色彩設計により巧みに可視化され、完成度とメッセージ性の両面において秀逸な作品です。



バックアーチ
総合1位2年6組

3年1組

・大きな鷹を主題に据えることで、クラスの勇猛さと力強さを造形的に描き出し、鷹の先見の眼差しが勝利への意志を象徴し

ているように感じます。細部にまで筆が入り、羽毛の質感や空の濃淡に対する絵画的な処理には、美術的感性と技術の高さが光り、バックアーチ全面に独特の迫力と印象深さをもたらしています。

3年2組

・恐竜の表情や後ろ足の鉤爪、尾に至るまで、立体感を意識した筆致と配色により迫力ある造形が丁寧に描かれています。タッチの工夫が質感を高め、画面に動勢をもたらしています。「クラス全員の一生の記憶に残るように」との願いが造形に込められ、強いメッセージ性と印象深さをあわせ持つ作品に仕上がっています。

3年3組

・蒼く燃える虎にクラスの勇猛さを重ね、バックアーチの正面に飛び出すような構図で、限界に挑む躍動感を力強く描いている作品です。背景に宇宙空間を用いたことで、神秘性と無限の広がりが表現され、独自の世界観と壮大なメッセージ性が画面全体に見事に融合されています。緻密に設計された完成度の高い作品です。

3年4組

・鋭い眼光とむき出しの牙で咆哮する虎が、翼を得たことでさらに力強くなり、バックアーチから飛び出そうとする瞬間を捉えた迫真の構図が印象的です。その造形には、クラス全員の熱意と想いが重なり、躍動感・生命力・迫力といった視覚的要素に込められたメッセージ性が巧みに画面全体に展開され、完成度を高めています。

3年5組

・ゲーム画面風のデジタルアート構図に自らの未来への歩みを重ね、高校生らしい純粋で瑞々しい感性を大切に、グローバルな世界観と無限の可能性への期待感を、個性的な筆致と造形で表現できています。構成力と色彩設計に優れ、温かみのあるデザイン性と独創性が際立つ印象深いバックアーチに仕上がっています。

3年6組

・牙をむき出しにし、鋭い眼光で勝利をまっすぐに見据える竜を、空に渦巻くダイナミックな構図の中で鮮やかかつ写実的に描写しています。たてがみや一枚一枚の鱗の質感表現も徹底して細部まで緻密で、描線や明暗の工夫により迫力と造形美が際立つ力作に仕上がっています。思わず引き込まれてしまう魅力が強い作品です。

今年の蒼輝祭、皆さん楽しんでもらえましたか？

長いようで短かった準備期間。悩みながら、最高を目指して迎えた本番。嬉しかったことも悔しかったことも、すべて皆さんにとって一生の財産です。

この蒼輝祭をきっかけに、皆さんがさらなる飛躍を遂げられることを願っています。学園祭、本当にお疲れ様でした！

(生徒会)